

令和七年度県立高等学校入学者選抜学力検査

国語

時間50分

(8時45分～9時35分)

注意

- 1 問題の①は放送による検査です。問題用紙は放送による指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙は表紙を入れて八ページあり、これとは別に解答用紙が一枚あります。
- 3 受検番号は、検査開始後、解答用紙の決められた欄に記入しなさい。
- 4 机の上に置けるものは、受検票・鉛筆(シャープペンシルも可)・消しゴム・鉛筆削りです。
- 5 筆記用具の貸し借りはいけません。
- 6 問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 7 印刷がはつきりしなくて読めないときや、筆記用具を落としたときなどは、だまって手をあげなさい。
- 8 「やめなさい」という合図ですぐに書くのをやめ、筆記用具を置きなさい。

答えの書き方

- 1 答えは、問題の指示に従って、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 2 答えはていねいに書きなさい。答えを書き直すときは、きれいに消してから書きなさい。
- 3 答えを漢字で書く場合は、楷書かいしょで書きなさい。

【資料】

資料1 企画書

〔1〕班 班長名〔田中〕 班員名〔矢野〕	
班のテーマ	<input type="text"/>
担当記事	思い出の学校行事
調べる方法	卒業生へのインタビュー
調べたいこと	<input type="radio"/> 昔、行っていた行事 <input type="radio"/> 一番の思い出となっている行事 ・いつ行われていたか ・内容について ・どんな感想をもったか

資料2 記事

班員名〔矢野〕

見出し 卒業生の吉川さんから聞いた  
「思い出の学校行事」

インタビューの内容


.....

.....

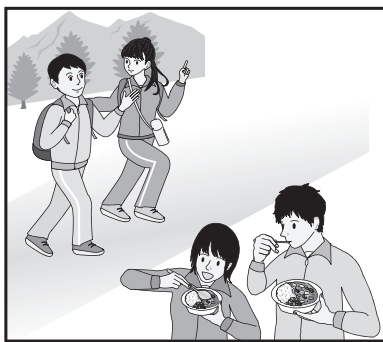
.....

.....

.....



イラスト



(1) 次のア～オの――の漢字の読みがなを書きなさい。また、カ～コ  
の――のカタカナの部分かいしよを楷書で漢字に書き改めなさい。

ア 卒業生に花束を贈呈する。

イ かつて隆盛を極めた文化。

ウ 本当の理由を詮索する。

エ ハンカチで汗を拭う。

オ 命の大切さについて諭す。

カ 書記のシヨクムを果たす。

キ ミンシュウから支持を得る。

ク 判定は審判のサイリヨウで決する。

ケ 魚が川の流れにサカらって泳ぐ。

コ もうすぐ年がクれる。

(2) 次の漢字の○で囲まれたあといの行書の特徴の組み合わせとして最も適切なものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

雲 海

あ い

4	3	2	1
あ	あ	あ	あ
点画の省略	筆順の変化	点画の省略	点画の連続
い	い	い	い
筆順の変化	点画の省略	点画の連続	筆順の変化

3

次の(1)、(2)に答えなさい。(14点)

(1) 次の文章を読んで、あとのア～ウに答えなさい。

おほかた、歌の良しといふは、心をさきとして、珍しき節をもとめ、

(発想を第一として)

(新しい趣向)

詞をかざり詠むべきなり。心あれど、詞かざらねば、歌おもてめでたし  
(表現を工夫して)

(歌全体) (すばらしい)

とも聞えず。詞かざりたれど、させる節なければ、良しとも聞えず。

(評価されない)

(これと  
いった)

めでたき節あれども、優なる心ことばなければ、また、わるし。

(優れた)

気高く遠白きを、ひとつのこととすべし。

(品格が高く雄大である)

(第一の目的)

——『俊頼髓脳』より——

(注) ことば……「詞」と同じ。

ア おほかた とありますが、すべてひらがなで現代かなづかいに書き  
改めなさい。

イ ひとつのこと とありますが、この語句が示している内容として最も

適切なものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 歌全体の語気が鋭く遠くまで響く力強さがあること。
- 2 歌を詠んだ人の運気が上がり活気がわいてくること。
- 3 詠まれた歌の気品が高く壮大さを感じさせること。
- 4 歌を詠むことで風格ある落ち着いた行動ができること。

ウ ある生徒が、本文の内容について次のようにまとめました。

□に入る適切な内容を、二十字以内で書きなさい。

歌が良いと言われるには、発想、趣向、表現が大切である。

すばらしい趣向があっても、□。

(2) 次の文章を読んで、あとのア、イに答えなさい。

【漢文】

曾子曰、「吾日三省吾身。為人謀而

不忠乎。与朋友交而不信乎。传不習乎。」

——『論語』より——

【書き下し文】

曾子曰はく、「吾日に三たび吾が身を省みる。人の為に謀りて

(世話をして)

忠ならざるか。朋友と交はりて信ならざるか。習はざるを伝ふるか。」と。

(真心)

(友人)

(誠実)

(習熟して  
いないことを)

(注) 曾子……孔子の門人。

ア 省 吾身 に、【書き下し文】を参考にして、返り点をつけなさい。

イ 曾子曰はく とありますが、曾子が言った内容として最も適切な

ものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 友人と仲違いして真心が足りなかったのではないかと反省する。
- 2 友人と親しくして誠実ではなかったのではないかと反省する。
- 3 人と競って及ばないことがあったのではないかと反省する。
- 4 人と議論していて結論を出せなかったのではないかと反省する。

4

次の文章を読んで、あとの(1)～(5)に答えなさい。(22点)



5

次の文章を読んで、あとの(1)～(6)に答えなさい。(26点)



- 6** ある中学校で、新聞のコラムを読み、方言についての意見文を書くことになりました。次の【コラム】を読んで、あとの(1)～(3)に従って文章を書きなさい。(10点)

【コラム】

- (1) 題名を書かないこと。
- (2) 二段落構成とし、それぞれの段落に次の内容を書くこと。
- ・ 第一段落では、【コラム】をもとに自分の意見を書くこと。
  - ・ 第二段落では、第一段落をふまえて、意見の理由を書くこと。
- (3) 百五十文字以上、二百字以内で書くこと。